

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 オーシャンシステム
 コード番号 3096 URL <http://www.ocean-system.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 樋口 勤
 (氏名) 古川原 英彦

TEL 0256-33-3987

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	30,583	6.0	852	15.7	908	12.7	476	60.2
23年3月期第3四半期	28,850	2.2	736	52.3	806	49.5	297	6.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 493百万円 (49.7%) 23年3月期第3四半期 329百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	47.53	—
23年3月期第3四半期	28.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	14,729	4,842	32.9
23年3月期	13,613	4,706	34.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,842百万円 23年3月期 4,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.50	—	5.50	11.00
24年3月期	—	5.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,600	7.0	940	17.3	1,000	13.1	460	54.6	45.21

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	10,833,000 株	23年3月期	10,833,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	988,892 株	23年3月期	658,854 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	10,020,545 株	23年3月期3Q	10,554,849 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

【添付資料】

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧が進むなど、企業の生産活動や個人消費は緩やかに回復してまいりました。しかしながら、タイでの洪水被害の影響に加え、欧州の債務危機に収束の見通しが立たず、長期化する円高・デフレ傾向に産業空洞化リスクも伴い景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましても、雇用不安や所得が伸び悩むなか、個人消費は概ね横ばいとなりましたが、放射能汚染や病原菌の問題等による食品の安全に対する不安の高まりや、業種業態を超えた競争の激化などにより厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは消費者目線に立った経営を心がけ、「安全・安心」で低価格な食品の安定した提供に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は305億83百万円（前年同期比6.0%増）、営業利益は8億52百万円（前年同期比15.7%増）、経常利益は9億8百万円（前年同期比12.7%増）となりました。

また、特別損失に投資有価証券評価損52百万円、特別利益に東日本大震災ならびに7月に発生した集中豪雨による被害に対する受取保険金1億56百万円を計上したことにより、四半期純利益は4億76百万円（前年同期比60.2%増）となりました。

なお、「3 四半期連結財務諸表 (4) セグメント情報等」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間よりセグメント名称を変更しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(小売事業)

「チャレンジャー」部門につきましては、競合店による新規出店や店舗改装が相次いでおり、既存店における集客の確保は厳しい状況が続いておりますが、テレビコマーシャルや広告チラシによる販売促進活動の強化と、年末商戦の商品力の向上にも注力した結果、売上高は堅調に推移いたしました。

「業務スーパー」部門につきましては、東北地方における売上高は若干の落ち着きを見せているものの順調に推移いたしました。また、12月には宮城県で5店舗目となる「業務スーパー南光台店」（仙台市泉区）をオープンし、計画通りの出店に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は209億21百万円（前年同期比7.1%増）、セグメント利益は5億25百万円（前年同期比27.7%増）となりました。

(弁当給食事業)

「フレッシュランチ39」（事業所向け宅配弁当）につきましては、弁当容器のリニューアルや、メニュー表の刷新などのお客様満足度向上に取り組んでまいりました。また、取引先の節電対応による作業日の変化などの不安定要素にも臨機応変に対応してまいりましたが、セグメント利益は低調に推移いたしました。

「こしひかり弁当」（首都圏オフィス向け店頭販売弁当）につきましては、引き続き新しい販売スタイルを企画、施策するとともに、千葉県の製造工場では、他の食品販売会社からの製造受託業務にも対応するなど柔軟な事業展開に取り組み、収益の改善に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における1日当たりの平均販売食数は「フレッシュランチ39」75,000食、「こしひかり弁当」7,400食の合計82,400食（前連結会計年度末比7.9%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は51億98百万円（前年同期比6.7%増）、セグメント利益は2億46百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

(宅配事業)

宅配事業につきましては、ネットスーパーや夕食弁当宅配サービスの台頭により、惣菜宅配サービス市場の競争が激化し、売上高の確保が苦戦を強いられるなか、天候の安定により野菜を中心とした原材料価格が安定した結果、セグメント利益は順調に推移いたしました。また、外部委託販売員(ヨシケイパートナーレディ)制度を引き続き積極的に導入し、営業コースの見直しや人件費コストの抑制に努めたことも利益貢献に繋がりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は40億16百万円(前年同期比1.2%減)、セグメント利益は3億36百万円(前年同期比7.3%増)となりました。

(旅館、その他外食事業)

旅館部門につきましては、東日本大震災の影響による全国的な観光自粛ムードは緩和され、前年を下回って推移していた稼働率は、秋の行楽シーズンにおいては前年を上回りました。

また、旅館以外の外食部門につきましては、4月にオープンした「丸源ラーメン紫竹山店」(新潟市中央区)は、夏季の猛暑とその後の残暑により、客数は低調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4億46百万円(前年同期比15.8%増)となりましたが、外食部門の新規出店に伴う開店準備費用などが発生したため、セグメント利益は0百万円(前年同期比96.5%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ11億16百万円増加し、147億29百万円となりました。負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億80百万円増加し、98億87百万円となりました。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億36百万円増加し、48億42百万円となりました。この結果、自己資本比率は1.7ポイント低下し、32.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の連結業績予想につきましては、前回発表(平成23年5月11日)の業績予想に概ね沿う形で推移しており、今後も業績に大きな影響を与える可能性のある要因がないと考えられるため、変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	868,942	1,653,968
売掛金	879,201	846,673
商品	921,070	1,330,757
原材料	103,985	110,804
その他	457,031	388,110
貸倒引当金	△5,855	△6,663
流動資産合計	3,224,375	4,323,651
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,438,768	4,401,158
土地	2,931,948	2,931,948
その他(純額)	418,109	601,287
有形固定資産合計	7,788,826	7,934,394
無形固定資産		
のれん	12,027	9,103
その他	366,797	402,571
無形固定資産合計	378,824	411,675
投資その他の資産		
その他	2,225,743	2,075,120
貸倒引当金	△4,568	△14,860
投資その他の資産合計	2,221,174	2,060,260
固定資産合計	10,388,825	10,406,330
資産合計	13,613,200	14,729,982
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,222,547	3,003,864
短期借入金	1,090,241	1,120,422
未払法人税等	420,000	64,009
賞与引当金	183,899	76,600
災害損失引当金	27,148	5,557
その他	1,101,939	1,233,837
流動負債合計	5,045,776	5,504,292
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	1,743,586	2,379,055
役員退職慰労引当金	570,914	309,584
退職給付引当金	17,772	19,315
資産除去債務	389,511	410,562
その他	639,638	765,006
固定負債合計	3,861,422	4,383,523
負債合計	8,907,199	9,887,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	801,710	801,710
資本剰余金	366,781	366,781
利益剰余金	4,084,177	4,450,323
自己株式	△503,942	△751,471
株主資本合計	4,748,727	4,867,344
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△42,725	△25,177
その他の包括利益累計額合計	△42,725	△25,177
純資産合計	4,706,001	4,842,166
負債純資産合計	13,613,200	14,729,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	28,850,059	30,583,765
売上原価	21,361,357	22,682,913
売上総利益	7,488,702	7,900,852
販売費及び一般管理費	6,752,119	7,048,584
営業利益	736,582	852,267
営業外収益		
受取利息	711	453
受取配当金	11,717	12,315
その他	105,793	83,907
営業外収益合計	118,222	96,676
営業外費用		
支払利息	41,413	37,042
その他	6,878	3,177
営業外費用合計	48,291	40,219
経常利益	806,513	908,724
特別利益		
固定資産売却益	3,721	—
受取保険金	—	156,048
貸倒引当金戻入額	4,238	—
その他	1,294	—
特別利益合計	9,254	156,048
特別損失		
固定資産売却損	2,441	—
固定資産除却損	3,905	34,155
災害による損失	—	30,052
投資有価証券評価損	58,482	52,659
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	129,714	—
その他	5,160	3,900
特別損失合計	199,705	120,768
税金等調整前四半期純利益	616,062	944,004
法人税、住民税及び事業税	358,293	262,594
法人税等調整額	△39,598	205,163
法人税等合計	318,694	467,757
少数株主損益調整前四半期純利益	297,367	476,246
少数株主利益	—	—
四半期純利益	297,367	476,246

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	297,367	476,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,430	17,548
その他の包括利益合計	32,430	17,548
四半期包括利益	329,798	493,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	329,798	493,794
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	小売事業	弁当給食 事業	宅配事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,525,522	4,872,931	4,065,731	385,873	28,850,059	—	28,850,059
セグメント間の内部売上 高又は振替高	29,603	120,697	11,535	3,869	165,706	△165,706	—
計	19,555,125	4,993,629	4,077,267	389,743	29,015,765	△165,706	28,850,059
セグメント利益	411,306	248,479	313,414	16,057	989,257	△252,675	736,582

(注)1 セグメント利益の調整額△252,675千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△258,492千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	小売事業	弁当給食 事業	宅配事業	旅館、その 他外食事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	20,921,320	5,198,918	4,016,720	446,805	30,583,765	—	30,583,765
セグメント間の内部売上 高又は振替高	5,914	109,522	11,831	514	127,782	△127,782	—
計	20,927,235	5,308,440	4,028,552	447,319	30,711,548	△127,782	30,583,765
セグメント利益	525,346	246,267	336,277	559	1,108,451	△256,183	852,267

(注)1 セグメント利益の調整額△256,183千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△268,778千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の総務部門等管理部門に係る販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント名称の変更)

「旅館、その他外食事業」は前連結会計年度まで「旅館事業」と表示しておりましたが、平成23年4月にフランチャイズ店となります「丸源ラーメン紫竹山店」をオープンしたことに伴い、事業内容をより正確に表示するために、第1四半期連結会計期間よりセグメント名称を変更しております。

なお、変更は名称のみでありますので、これによるセグメント情報の損益等に与える影響はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。